

報告

# 第 56 回 年次大会・講演会

2019・2020 年度技術士第二次試験合格者祝賀会の併催

長 井 智 典

## 1. はじめに

昨年の第 55 回年次大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、北海道本部ホームページ上での資料掲載による報告としました。今年度においても新型コロナウイルスの感染拡大防止が必要な状況に変化は望めないことから、会場参加を役員等の必要最小限とし、ホームページ上での資料掲載に加え、希望者へのインターネット配信を行うこととしました。

また、新型コロナウイルスの影響により 2020 年度の技術士第二次試験合格発表が例年より遅れ、4 月 30 日(金)であったことや、技術士第二次試験合格者祝賀会が、当面、従来の宴席・会食の形態で実施できないことから、年次大会・講演会と祝賀会(ガイダンス)を併催することとしました。なお、昨年 2019 年度合格者に対する祝賀会を中止したため、今回合わせて参加の案内をしました。

年次大会等開催日時：2021 年 7 月 14 日(水)

《第 1 部》年次大会 15:30～16:30

出席者；会場：44 名、WEB 視聴：48 名、  
合計：92 名

《第 2 部》講演会 16:30～17:30

出席者；会場：58 名、WEB 視聴：61 名、  
合計：119 名

《第 3 部》2019・2020 年度技術士第二次試験合格者祝賀会 18:00～19:45

出席者；会場：54 名(15)、WEB 視聴：23 名(9)、  
合計：77 名(24) ( )は内数で合格者。

会場：ホテル札幌ガーデンパレス

## 2. 年次大会(15:30～16:30)

今回は定期報告として 4 つの報告が行われました。年次大会資料を、本会誌後ろの年次大会報告に掲載していますのでご覧ください。

### (1)開会挨拶

はじめに大熊本部長から、日本技術士会の役員等改選についてお知らせがあり、続いて最近の話題として、日本技術士会が CPD 実績管理を担うことの大臣通知を受けたこと、会費減免措置が始まったこと、組織改革委員会が設置・開催されたことについてお話があり、日本技術士会北海道本部が社会に貢献していく集団となるよう協力いただきたいと結ばれました。

### (2)報告事項と質疑応答

以下 4 件の報告がありました。ホームページ掲載後のメール受付含め、質問・意見等はありませんでした。



写真-1 会場の様子

#### ①第 1 号報告(2020 年度事業報告及び決算報告)

羽二生事務局長より、2020 年度の事業及び決算報告が行われ、今井会計幹事より適正かつ問題の無い旨の監査報告がありました。

#### ②第 2 号報告(2021 年度事業計画・予算説明)

前号に続いて、2021 年度の事業計画と予算についての説明が行われました。今年度は、繰越金が増加したことから、当面、各委員会等なりの「ウィズ・アフターコロナ禍における新たな活動」の試行をお願いし、今年度予算の臨機応変の運用を考えていることが説明されました。(詳しい予算内訳等は、本会誌後ろに掲載の大会資料を参照願います。)

#### ③第 3 号報告(役員を選任について)

2021 年度の北海道本部役員交代について報告と紹介がありました。なお、今年 4 月に日本技術士会の地域組織幹事選出選挙が行われ、北海道本部の立候補者は皆さん信任されています。

#### ④第4号報告(日本技術士会会長表彰者)

2019年度日本技術士会会長表彰の受賞者について事務局より報告・紹介がありました。北海道本部からは、飯野将徳氏、今井淳一氏、小林正明氏、羽二生望氏の計4名が受賞されました。

会長表彰受賞者の略歴等は本会誌グラビアをご覧ください。

#### (3)その他

6月16日に開催された日本技術士会定時総会の終結によって退任された森前本部長からご挨拶がありました。2期4年においてご協力いただいた皆様へのお礼とともに、北海道本部の親しげな雰囲気、他の地域本部から羨望の目でみられており、この風土を新役員の皆さんも継続していただきたいとお話されました。

#### 3. 講演会(16:30～17:30)

今回は北海道大学大学院文学研究院准教授の今村信隆氏をお迎えし、「ミュージアムの成長とはなにか?—〈ひと〉を育て〈まち〉を育つ、公共文化施設の地域力」と題してご講演いただきました。

#### (1)講師のご経歴

今村様は、1977年に苫小牧市にお生まれになり、北海道大学大学院文学研究院博士後期課程を修了され、文学博士の学位取得後、民間のバス会社を経て、札幌芸術の森美術館に勤務されました。



写真-2 今村准教授

その後、京都造形芸術大学(現京都芸術大学)専任講師、同准教授、甲南女子大学准教授を経て現職に就かれております。

#### (2)講演について

講演会では、老朽化を迎え危機感のあるミュージアムの現状、静(お静かに)と動(にぎわい)の岐路に立つミュージアム(元々明治5年の博覧会は賑やかだったが明治9年の油画茶屋では静かになっており、2000年位から再び賑やかなミュージアムがみられるようになった。)、ソフトウェアとして元気になってきたミュージアム、どこからミュージアムかが不明な新しい形態など事例を交えて紹介され、

ミュージアムでの学びについて、学習の四本柱を例に、知ることを学ぶ・為すことを学ぶはオンラインで出来るが、共に生きること・人間として生きること学ぶことはオンラインでは出来ず、ミュージアムはそこに貢献できると結ばれました。

#### 4. 2019・2020年度技術士第二次試験合格者祝賀会(18:00～19:45)

講演会終了後にお弁当を黙食し、その後祝賀会が開催されました。飯野事務局次長の進行により、大熊本部長の開会挨拶、羽二生事務局長からの試験結果と組織説明の後、恒例の委員会・研究委員会からの活動紹介がありました。

 青年技術士交流委員会 高橋幹事長	 防災委員会 小林幹事長	 倫理委員会 佐々木幹事長	 社会活動委員会 植村委員長
 リージョナルステート研究委員会 中田副代表	 北海道スタンダード研究委員会 樋詰代表代理	 エンジョイ・サイエンス研究委員会 小山田代表	
 技術者のミライ研究委員会 小澤代表	 北海道インフラ技術政策研究委員会 浅野幹事長	 オホーツク技術士委員会 橘代表	
 道央技術士委員会 長谷川幹事長	 道南技術士委員会 布村代表	 道北技術士委員会 高薬代表	

その後、新規合格者からの自己紹介があり最後に金副本部長からの挨拶により閉会となりました。

#### 5. おわりに

今年度はハイブリッド型の年次大会でしたが対面での行事が待ち遠しい限りです。コロナ禍の中、今回快くご講演をお引き受けいただいた今村様、そして参加者の皆様に心からお礼申し上げます。

#### 長井智典(ながい ともり)

技術士(建設/総合技術監理部門)

北海道本部 事務局次長  
株式会社ドーコン

